

財産目録
平成30年03月31日現在

法人:社会福祉法人 横浜市南区社会福祉協議会
事業:法人全体

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—		—	—	
現金	現金手許有高	—	運転資金として	—	—	134,350
預貯金	横浜信用金庫吉野町支店他	—	運転資金として	—	—	38,500,224
			小計			38,634,574
事業未収金		—	2、3月分権利擁護事業利用料等	—	—	156,965
未収金		—	正会費	—	—	65,000
未収収益		—	分担金・負担金	—	—	518,872
前払費用		—	保険料	—	—	205,990
			流動資産合計			39,581,401
2 固定資産						
(1) 基本財産						
定期預金	横浜信用金庫吉野町支店	—	基本財産として	0	0	3,000,000
			基本財産合計			3,000,000
(2) その他の固定資産						
建物	団体交流室パーテーション	—	団体交流室間仕切	997,920	11,088	986,832
車輛運搬具	ダイハツ軽四輪自動車1台、スズキ軽四輪自動車1台、ニッサン軽四輪自動車2台、ホンダ軽四輪自動車1台	—	利用者送迎・訪問用等	7,569,701	6,636,903	932,798
器具及び備品	紙折り機、点字プリンター等	—	利用者貸出用等	3,547,732	2,214,051	1,333,681
投資有価証券	第10回30年国債	—	アキュムレーション処理	0	0	378,133
運営基金積立資産	第37回30年国債等	—	南区の社会福祉事業の健全な運営を図り、自主的な活動の財源を確保することを目的に積み立てている債券等	0	0	82,708,213
立川基金積立資産	第11回30年国債等	—	寄附者により住民の福祉向上に役立てることを目的に積み立てている債券等	0	0	53,282,652
白石小寺基金積立資産	第37回30年国債等	—	寄附者により住民の教育と福祉向上に役立てることを目的に積み立てている債券等	0	0	311,342,784
綿野基金積立資産	第11回30年国債等	—	寄附者により南区内の子どもの幸せに役立てることを目的にし積み立てている債券等	0	0	15,060,000
その他の固定資産	神奈川ダイハツ(株)他	—	車輛リサイクル料預け金	0	0	48,440
			その他の固定資産合計			466,073,533
			固定資産合計			469,073,533
			資産合計			508,654,934
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	PC購入費、消費税等	—		—	—	988,533
その他の未払金	補助金返還分等	—		—	—	492,120
未払費用	非常勤雇用経費、消費税等	—		—	—	5,729,787
			流動負債合計			7,210,440
			固定負債合計			0
			負債合計			7,210,440
			差引純資産			501,444,494

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載する。
- ・減価償却資産（有形固定資産に限る）については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。